

(社)日本マイクロ・ナノバブル学会 第4回学術総会 プログラム

受付開始：08:30（リバティーホール会場前ロビー）

2015年12月13日（日）明治大学駿河台キャンパス リバティーホール

時間割	講演・発表演題	講師・発表者	所属
午前の部 10:00~10:10	開会の辞 第4回学術総会大会長	白井 泰雪 Shirai Yasuyuki	東北大学未来科学技術共同研究センター 特任教授 (社)日本マイクロ・ナノバブル学会理事/工学会会長
	■基調講演	座長 寺本 章伸 Teramoto Akinobu	東北大学未来科学技術共同研究センター 教授
10:10~10:55	従来通説を覆す「プラス」表面電荷型nano-bubble生成とその極性評価法 —新素材による容易なmulti-air nano-bubble産生法と極性controlの実際—	大平 猛 Ohdaira Takeshi	九州大学 先端医療イノベーションセンター プロジェクト部門 特任教授
10:55~11:40	マイクロバブル技術の物理化学的基本と使命	大成 博文 Oonari Hirofumi	㈱ナノプラネット研究所 研究開発本部長
11:40~12:00	休憩		
	■ランチョンセミナー（会場1F/1011号） ※サテライト会場（6F1063号）	座長 白井 泰雪 Shirai Yasuyuki	東北大学未来科学技術共同研究センター 特任教授
12:00~12:30	○京セラメディカル株式会社 大転換期を迎えた微細気泡発生技術とその評価法 —微細気泡の標準的評価法とその製品還元法—	セミナー講師 大平 猛 Ohdaira Takeshi	九州大学 先端医療イノベーションセンター プロジェクト部門 特任教授
12:30~13:00	○マイクロトラック・ベル株式会社（日機装株式会社） Nano-bubbleの簡易測定・評価の実際 —Blue laser測定機器の観察ポイント—		
13:00~13:40	■展示室閲覧（会場6F/1064号） 出展企業・団体（社名略） 京セラメディカル/マイクロトラック・ベル（日機装）/日田天領水		
午後の部 13:40~14:25	■工学セッション1部	座長 益子 洋治 Mashiko Youji	大分大学工学部電気電子工学科 教授
	金ナノ粒子のレーザー加熱により発生したマイクロ・ナノバブルの光学顕鏡 ・原子間力顕微鏡観察	柳谷 伸一郎 Yanagiya Shinichirou	徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部 光応用工学科 助教
	マイクロ・ナノバブルの半導体洗浄への応用—イオン注入フォトレジストの除去—	寺本 章伸 Teramoto Akinobu	東北大学未来科学技術共同研究センター 教授
	ロボットを使用したnano-bubble tornado製法における力学的モーメント 影響評価法	前田 桂 Maeda Kei	九州大学 先端医療イノベーションセンター テクニカルスタッフ
14:25~14:55	■農学セッション1部	座長 玉置 雅彦 Tamaki Masahiko	明治大学農学部農学科 教授
	オゾンナノバブルによるお濠の水質浄化	山本 勉詳 Yamamoto Yasuyoshi	東京農業大学農学部農学科 学部生
	Micro-nano-bubbleによる染色線維素材の洗浄法	近田 章江 Chikada Akie	九州大学 先端医療イノベーションセンター プロジェクト部門テクニカルスタッフ
14:55~15:55	■医学セッション	座長 嶋田 和人 Shimada Kazuhito	(独)宇宙航空研究開発機構航空本部 飛行技術研究センター人間工学セッション 医長
	オゾンナノバブル水を用いた持続洗浄療法による骨・関節感染症の治療	川島 眞之 Kawashima Masayuki	(医)玄真堂 川島整形外科病院 院長・副理事
	オゾンナノバブル水の感作時間の違いによるS. mutansに対する殺菌効果について	杉澤 満 Sugisawa Mitsuru	杉澤歯科医院 院長
	酸素マイクロ・ナノバブル水を用いた完全液体換気への応用	大植 愛子 Ooue Aiko	早稲田大学大学院先進理工学研究科 修士課程
	新素材発生システムによるmulti-air nano-bubble水の再生医療への応用	二宮 寿一 Ninomiya Hisakazu	九州大学 先端医療イノベーションセンター プロジェクト部門テクニカルスタッフ

* プログラムは変更する場合があります。予めご了承ください。

15:55~16:15	休憩		
16:15~17:00	■■工学セッション2部	座長 二ノ宮 進 —Ninomiya Shinichi	日本工業大学 工学部機械工学科 准教授
	高酸素がバクテリアに与える影響 —マイクロバブル培養から見える静菌メカニズム—	伊藤 司 Itou Tsukasa	群馬大学大学院理工学府 環境創生部門 准教授
	CO2ナノバブルによるコンクリートの表面炭酸化に関する基礎的研究	北垣 亮馬 Kitagaki Ryouma	東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 講師
	マイクロバブル浮選による水棲菌の除去に 関する基礎的研究	日下 英史 Kusaka Eishi	京都大学大学院エネルギー科学研究科 エネルギー応用科学専攻 助教
17:00~17:45	■■農学セッション2部	座長 長島 孝行 Nagashima Takayuki	東京農業大学農学部農学科 教授
	農業試験場にて使用している作物発芽成長・標準化試験モデル（小松菜種子試験） におけるmulti air (O ₂ ・H ₂ ・O ₃ ・N ₂ ・Air) nano-bubbleの有効性評価	山崎 時久 Yamazaki Tokihisa	九州大学 先端医療イノベーションセンター プロジェクト部門テクニカルスタッフ
	減農薬栽培法にむけたマイクロナノバブルの利用とイネいもち病菌の殺菌効果	末廣 景亮 Suehiro Keisuke	明治大学大学院農学研究科 修士課程
	マイクロバブルを利用した水産加工場排水の浄化	高橋 晋 Takahashi susumu	八戸工業大学大学院工学研究科 准教授
17:45~17:55	閉会の辞 2016年度第5回学術総会 大会長	玉置 雅彦 Tamaki Masahiko	明治大学大学院農学研究科 教授 (社)日本マイクロ・ナノバブル学会理事/農学部会長
18:00~20:00	懇親会（23F/岸本辰雄・宮城浩蔵記念ホール・サロン「燦」）		